

2025年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

政治経済学研究科 経済学専攻 (博士前期課程)

科目：小論文

次の4問から1問を選択し、日本語で解答しなさい。

【解答用紙に問題番号を明記すること。】

1. マクロ経済成長と地域格差の形成、に関する複数の議論を紹介したうえで、両者の整合性についてもあわせて簡明に説明しなさい（この、〈整合性〉に関する議論については、〈逆U字型曲線〉という概念が有効かもしれません）。

2. 男女の賃金情報の開示政策を導入している国は、2024年で32カ国にのぼるが、日本もそのうちの1つである (Cullen 2024, *J. Econ. Perspective*)。この政策は、企業に社内の男女の賃金差の実態を数量的に把握・開示させることで賃金格差解消のための対応を促し、かつ労働者や労働組合に解消のための行動をとりやすくすることで、男女間賃金格差の解消を目指すものである。この政策には、効果と副作用の両方が理論的に予想されるが、どのような効果と副作用が予想されるだろうか。また、その効果や副作用はなぜ生まれるのだろうか。経済学的視点に基づいて、論じなさい。

3. 103万円の壁について財政との関連で述べなさい。

4. リモートワークの拡大が、日本の地方、地方に立地している企業、および労働市場に与える影響について論じなさい。